

# NEWS LETTER

第10号  
2018.1

KIT 男女共同参画推進センター通信

## KIT男女共同参画推進センター第11回セミナー 「理系のキャリアデザイン2017—多様性と自分らしさ—」を開催しました。

平成29年12月8日（金）午後、本学60周年記念館2階大セミナー室にて、KIT男女共同参画推進センター第11回セミナーを開催いたしました。

ダイバーシティ推進の時代に、これからの理系の仕事やキャリアデザイン、ライフプランについて、お二人の講師を招いて、お話を伺いました。

大谷センター長の開会挨拶に続き、本学卒業生で小林製薬株式会社ヘルスケア事業部研究開発部課長の矢野博子様、「あったらいいな。をカタチにする～製品開発も自分の生き方も～」と題して、ご講演いただきました。

消費者のニーズやアイデアを医薬品やヘルスケア製品というカタチにする仕事の紹介や、結婚、子育てをしながら続けてこられた経験を「私のワークライフバランス10箇条」として話されました。「困ったときには抱え込まずに相談する」、「やれる所までやってみて、だめなら潔くあきらめる」、「感謝報恩の心を忘れない」などは、働き方だけではなく、私達の生き方にも通じるものとして、具体的なヒントをいただきました。

次に、「自分らしくキャリアデザイン～人生100年時代に～」と題して、同志社女子大学現代社会学部教授の日下菜穂子様にご講演いただきました。

「好きなこと」を選ぶのか、「得意なこと」を選ぶのか、を事例や心理学の理論を紹介しながら、わかりやすく話されました。これからの長い人生において、選択や行動（アクション）に迫られる場面はたくさんあることでしょう。その時に何を大切にするのか、何が不安なのか、どんなことに価値をおくのか、など自分自身についてあらためて考える時間となりました。変化の連続であろう人生に多くの示唆をいただきました。

最後に、「男女共同参画社会を実現するための教育プログラム」を代表して、本学分子化学系の亀井加恵子教授が閉会の挨拶を行い、セミナーを終了しました。

終了後には隣室にて意見交換会を行い、参加者が講師の方と気軽に仕事の内容や家事、育児との両立（ワークライフバランス）の実際、キャリアアップ、ライフプランニングなどについて語り合い、交流を深めました。

また、参加者アンケートでは、8割弱の人が「参考になった」と答え、「普段聞けない話がたくさん聞いて面白かった」、「キャリアデザインの話は就職活動を控えている自分にとって、考え方を提示していただき有難かった」、「興味深いテーマで楽しく聞けた」、「矢野さんは実践、日下さんが理論と、両方聞くことで理解が深まり良いものとなった」などの感想が寄せられ、参加者にとって大変有意義な機会となりました。



第11回セミナーチラシ



講師 矢野博子様



講師 日下菜穂子氏



第11回セミナーの様子

# 研究とライフイベントの両立支援

## 研究支援員制度

出産・育児や介護などライフイベント期にある女性研究者等の研究活動を支援するため、大学院生等を研究支援員として配置することによって、研究活動の継続・進展を図る本学の制度です。小学校6年生までの子どもを養育中の方、または親族（同居、別居は問わない）を介護している研究者の方などが対象となります。配偶者が研究職の男性研究者も利用できます。

### 平成 29 年度（前期・後期）利用状況

	利用教員数	利用事由
前期	9名（女性8名・男性1名）	育児7名・介護2名
後期	10名（女性8名・男性2名）	育児8名・介護2名

## 利用教員の声



「両親の介護と研究との両立の日々において、データ分析や情報収集など研究の補助として、大変役に立ちました。」  
「育児中で時間が限られる中、支援員の補助により、実験、データの入力、分析作業が順調に遂行できました。」  
「子育てのため夕方以降にまとまった時間を取ることが難しく、支援員の配置により継続的な作業進行が可能となりました。」  
「専門能力の高い支援員の補助により、子育てとの両立中でも研究がすすみ、非常に助かっています。」

## 支援員の声



「支援員に従事し、時間意識をもち、実験データの処理や整理が効率よくできるようになった。」  
「先生の研究補助を行うことで、より実践的な内容に取り組むことができ、今までになかった視点や発想が得られた。」  
「大学教員の仕事の実際に触れ、将来研究者としての進路を選択するかについて、大変参考になった。」  
「支援員を行うことで自身の研究に関する知識に加え、たくさんの解析操作や分析方法も学べた。」

## 仕事と育児・介護の両立支援ガイドブック<改訂版>の発行

平成 29 年 10 月に、本学で働く教職員のみなさんが、仕事を持ちながら育児や介護を行うための各種支援制度や両立支援情報を一冊にまとめたガイドブック<改訂版>を発行しました。

### <掲載の一例>

- ・妊娠、出産、育児期に利用できる制度と手続き
- ・出産、育児支援に関する Q & A
- ・介護期に利用できる制度と手続き
- ・介護支援に関する Q & A
- ・両立支援制度—研究支援員制度 など



KIT 男女共同参画推進センターでは冊子をご用意しています。数に限りがありますが、ご希望の本学教職員に配付しております。また、センター HP にもガイドブックの内容を掲載しております。ご利用ください。

URL <http://www.sankaku.kit.ac.jp/>

「育児・介護支援のページ」→「両立支援ガイドブックのページ」

# 次世代育成 理系女子の裾野拡大

## オープンキャンパス 2017 において「女子高校生のためのリケジョ講座」開催

KIT 男女共同参画推進センターでは、本学オープンキャンパス 2017 (8月10日・11日) において、「女子高校生のためのリケジョ (理系女子) 講座」を開催しました。

本学生命物質化学域 (材料制御化学・機能物質化学専攻) の竹部朝香さん、水谷奈津希さん、設計工学域 (情報工学専攻) の伊奈志織さん、富増紗也華さん、造形科学域 (デザイン学・建築学専攻) の岩本あかりさん、井上祥子さん、田中翔子さんの7名的女子学生が、女子高校生、女子中学生、保護者の方を対象に、理系に進んだきっかけ、大学での学びや研究内容、大学生活などをわかりやすく紹介しました。

参加者アンケートでは、「大変参考になった」と「参考になった」が約98%を占め、大変高い満足度が得られました。「実際にしている研究の内容などを詳しく知ることができて良かった」や「具体的な大学生の生活がよくわかって、とてもおもしろかった」、「みなさん个性的で楽しかった」、「リケジョならではのことを聞けてすごくよかった」などの感想が多数寄せられました。楽しく、面白く、そして真剣に理系への進路選択について考え、女子学生と女子高校生、参加者が交流できた有意義な機会となりました。



女子学生による研究紹介

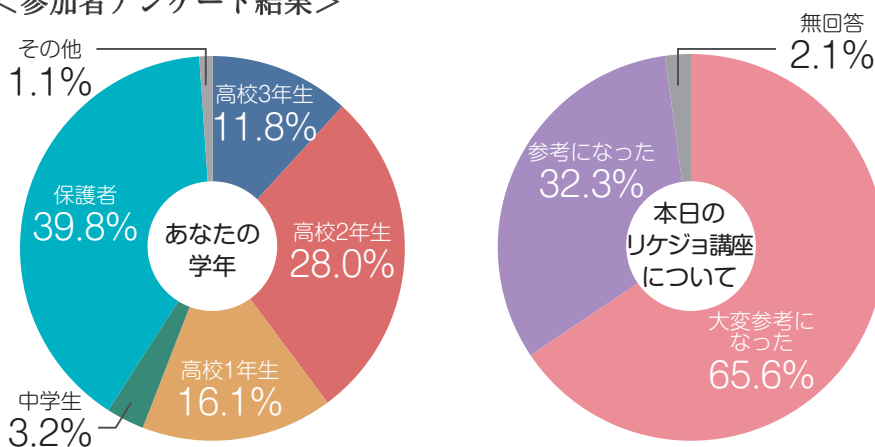


研究材料を触ってみる参加者



リケジョトークの一場面

### <参加者アンケート結果>



リケジョ講座チラシ

## 内閣府 第2回理工系女子応援ネットワーク会議参加報告

平成29年10月4日(水)、内閣府「第2回理工系女子応援ネットワーク会議」に昨年に引き続き、センターのコーディネータが参加しました。

企業、大学、学術団体、行政機関など47団体・56名が参加し、理工系女子人材育成に関する取組や事例紹介、夏のリコチャレ2017イベントの実施報告、参加者によるグループディスカッションなどを行いました。

ディスカッションでは、「イベントの工夫点・課題点」、「集客方法、周知活動」、「地域連携イベント」などのテーマについて、活発な意見交換を行いました。会議には、松山内閣府特命担当大臣も出席され、『我が国が持続的に成長していく上で、科学技術・学術分野における女性活躍が極めて重要であり、政府としても、未来の理工系女性の育成には産学官による取組や支援が不可欠と考えていることから「理工チャレンジ (リコチャレ!)」に力を入れていく』と述べられました。

理工チャレンジのさらなる推進や事業の充実にむけて、参加者同士の交流が図れた有意義な時間となりました。



## センター提供科目開講

平成 27 年度から引き続き、KIT 男女共同参画推進センター提供科目として、「ジェロントロジー入門（超高齢社会のユニバーサルデザイン）」を開講しています。

学生たちが就職後に向き合うことになる高齢社会の諸問題を正しく認識し、高齢者の身体や精神状態、高齢社会を支える技術やデザインのあり方、長寿時代の生き方や老い方について、より具体的に実践的に学び、課題解決の力を身につけます。人生を自分がデザインできる生き方の総決算であることを理解し、広大な学問領域に関して、分野横断的なアプローチをしていきます。



### <シラバスの一例>

- ・ 超高齢未来の姿
- ・ 長寿時代の理想の生き方、老い方
- ・ 高齢者の活躍の仕方（就労、社会参加、生涯学習）
- ・ ジェロンテクノロジーとユニバーサルデザイン
- ・ 最後の日々を自分らしく
- ・ ジェロントロジーをこれからの人生に活かす方法 など



開講時期：平成 29 年度 秋学期

担当教員：大柴小枝子 氏（本学 電気電子工学系教授）

関根 千佳 氏（同志社大学大学院 客員教授）

## センター図書案内

### 「地域連携による女性活躍推進の実践」

（独立行政法人国立女性教育会館 編・悠光堂 2017 年）

持続可能な地域づくりに活かす行政と民間のつながり—男女共同参画の理念との調和を保ちつつ、様々な分野に女性の活躍推進を浸透させるにはどんな取り組みが効果的なのか。そのような視点から視野を広げる上で参考になる一冊。

### 「親が倒れた！親の入院・介護で

#### すぐやること・考えること・お金のこと」

（太田差恵子 著・翔泳社 2015 年）

昨日まで元気だった親が突然入院！これから初めての介護生活、父親の介護で母親まで倒れそう・・・、仕事と介護の両立が厳しいけど無理をするしかない？—そんなあなたが「いま」知るべきことをわかりやすく紹介。

### 「LIFE DESIGN（ライフデザイン）」

#### スタンフォード式最高の人生設計」

（ビル・バーネット&デイヴ・エヴァンス 著・早川書房 2017 年）

行きづまった人生が自分史上最高の人生に変わる。人生のあらゆるステージに応用できるライフデザインの方法を知れば、自分らしい生き方が見えてくる！世界に誇る人気講座の秘訣を創設者たちがすべて公開。待望の邦訳。

### 「LIFE SHIFT（ライフ・シフト）」

#### 100 年時代の人生戦略」

（リンダ・グラットン 他 著・東洋経済新報社 2016 年）

寿命 100 年時代。あなたはどう生きますか？みんなが足並みをそろえて教育、勤労、引退という 3 つのステージを生きた時代は終わった。働き方、学び方、結婚、子育て、人生のすべてが変わる。100 歳時代の戦略的人生設計書。

センターでご覧いただけます。また、本学教職員の方に貸出しています。ご利用ください。

～応援します！研究と生活の両立～ ◇◇京都工芸繊維大学 KIT 男女共同参画推進センター◇◇

住 所 〒 606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 京都工芸繊維大学 2 号館南棟 1 階 134 号室

TEL・FAX 075-724-7757（内線 7757）

Eメール sankaku@kit.ac.jp ホームページ <http://www.sankaku.kit.ac.jp/>